



# 浦島伝説

令和5年4月14日

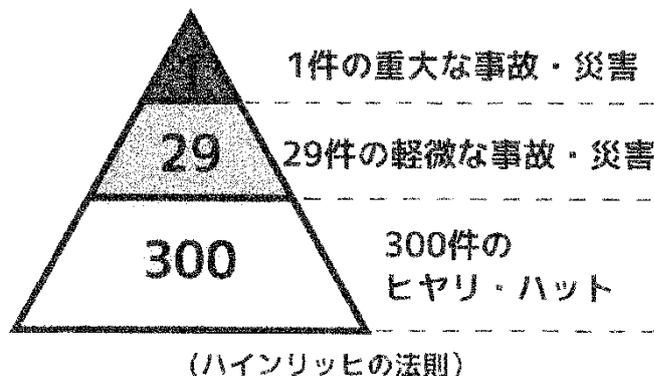
第2号

## 「1:29:300」と「10・10・10」

先日、1年生の学年団集会で話す機会がありました。そのとき紹介したのが「1:29:300」と「10・10・10」の二つの数字です。1年生、覚えていますか？

「1:29:300」は、ハインリッヒの法則（別名：ひやり・はっとの法則）とも呼ばれている数字です。1件の重大事故の背後に29件の軽微な事故が隠れていて、さらにその背後には300件のひやり・はっとな出来事があるというのです。みなさんの生活の中で考えてみるとどうでしょう。ひやり・はっとな出来事は案外起こっていませんか？その中でたまにケガをすることはありませんか？

さて、生活の中で一番ひやり・はっとな場面を考えてみてください。やはり、登下校時ではないでしょうか。赴任してきたとき、学校前の道路の並進はなかなか改善されないという話を聞きました。ヘルメットの着用の義務化など学校のルールだからという時代は、終わろうとしています。個人の正しい考え方がより大切な時代となってきています。みなさん一人一人の命は、何よりも大切な宝物です。ひとりひとりが意識を高めた生活を送り、安心・安全な詫間中学校を創っていきましょう。



「10・10・10」は、企業の研修などでよく話されている数字です。私がこの数字を知ったのは、大阪桐蔭高等学校野球部の西谷監督が、選手に話していたからです。「信用を得るのに10年、失うのはたった10秒、また信用を取り戻すのに10年」これは、ホテルマンのプロとしての意識だそうです。今の詫間中学校があるのは、先輩や先生方が培ってきた10年です。あいさつができ、地域の方たちからの信用を得ることができてきています。しかし、誰かひとりのマイナスな行動や発言で、たった10秒でその信用は失われます。そしてまた信用を取り戻すのに10年かかると考えれば、みなさんが中学校で過ごす3年間の間にその信用を取り戻せないことになるのです。自分の行動や発言を考えられる詫間中学校の生徒になってください。

## どんなスタートができていますか？

新しい生活が始まり、一週間が過ぎました。みなさんは、どんなスタートができていますか？新しい学年、新しいクラス、日々緊張の連続だったのではないのでしょうか？これは、私たち大人（先生方）も同じです。伝え忘れたことはないか？困っている生徒はいないか？など職員室での会話はつきません。きっと保護者の方も同じだと思います。どんな学校生活を送っているのだろうか？新しい友達ができただろうか？中学校の授業は、難しいのだろうか？とみんながそれぞれの場所で思いを巡らせていることだと思います。短い時間でもいい、どんな内容でもいい、ぜひ対話をしましょう。対話することでそれぞれの思いがつながります。理解し合い、共有できます。

※「対話」とは・・・直接に向かい合って互いに話をする事。